

思川だより



令和2年5月20日 第72号



来年度に付替県道全線供用を控えており、さらに重要な1年となります。
本年度も宜しくお願い申し上げます。

橋梁工事がアツい付替県道！

工事の状況は思川開発建設所 HP からご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kanto/omogawa/kouji/index.htm>

令和2年5月中旬現在、当建設所では付替県道・林道の新設工事10件、ダム本体の準備工事1件、導水施設工事2件を実施しています。

付替県道については、来年度(令和3年度)の全線開通を目指して、工事は最盛期を迎えており、現在4箇所では橋梁工事を行っています。

橋梁工事には、橋を支える脚までをつくる「下部工工事」と、車が走行できる道路までをつくる「上部工工事」があります。今回は、「付替県道2号橋上部工工事(橋長:約90m)」をご紹介します。



付替県道2号橋(梶小橋)上部工工事の場所は、ダムサイトから約2.5km上流に位置し、右上の写真奥に写る^{げんせきやま}原石山というダム本体の材料を採取する山を望むことができます。現在は、形の異なる木の板を組み合わせてつなぐ^{はしげた}型枠組立を行い(写真①)、橋上の^{ゆかいた}重みを橋桁等に伝えるための床板を造っているところです(写真②)。



板の角度を調整しつつ、約90mに渡り、型枠を組んでいく作業は、まさに職人技です！



型枠上に鉄筋を組み立てた後に、コンクリートを流し込み、床板を造ります。

今後、^{ゆかいた}床板の上にアスファルト舗装や安全施設等を施すと、皆さんが普段見慣れている橋梁の形となります。

本工事は、本年7月の完成を目指し鋭意施工して参りますが、工事の実施に当たっては、皆様方の生活環境はもとより、環境対策や工事用車両の通行などの安全対策に万全を期して参ります。引き続き、思川開発事業へのご理解とご協力のほど、よろしくお願ひします。

導水路の紹介第一弾。始まります！

導水路を知ろう 1

< 導水路トンネル シールドマシン >

昨年 11 月に、「思川開発導水路工事」が契約となりました。

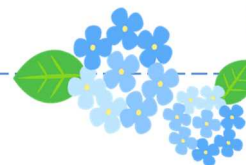
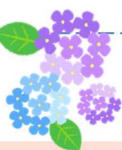
導水路トンネルは、全長約 8.5km あります。(黒川導水路[黒川-大芦川間 約 2.8km、内径 2.3m]、大芦川導水路[大芦川-南摩ダム貯水池上流端間 約 5.7km、内径 2.8m])

黒川・大芦川の水が豊富かつ南摩ダムに水を貯められる余裕があるときに、黒川・大芦川から南摩ダム貯水池の上流端に水を導きます。



写真： シールドマシン

この導水路トンネルを掘るために、右の写真のようなシールドマシンと呼ばれる機械を用います。写真は、水資源機構の別の工事で使用したシールドマシンですが、本工事でも同じ形式を採用します。シールドマシンの最前面にあるカッターヘッド(青色の部分)が回転することで、カッタービットと呼ばれる岩盤を削る刃(黒色の部分)も併せて回転し、岩盤を細かく砕いていくことによりトンネルを掘っていきます。



上南摩小学校キャリア教育授業「夢プロジェクト」の経験談！

2月21日(金)に、鹿沼市立上南摩(かみなんま)小学校主催のキャリア教育授業「夢プロジェクト」に、当建設所の環境課職員が講師として参加しました。

この授業は、児童が働くことや学ぶことの意義を理解し、自分の良いところを活かしながら将来への見通しをもつことを目的として企画されているものです。

当日は、3～6年生の児童のみなさんを対象に、「小学生時代の夢や今の仕事に就いた経緯と今の仕事について」をテーマに、当建設所環境課の大崎さんが、日常業務を交えながら講演しました。

後日、児童のみなさんから「好きなことを探してみたい、ありがとうございました。」などの心温まるお礼のお言葉が書かれた色紙が届きました。将来の夢を考えるような授業に携わることができ、非常に貴重な経験をさせていただいたと、大崎さんも喜んでいました。



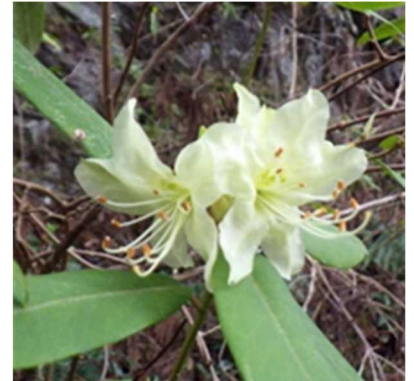
写真： 講演中の様子



写真： 色紙等のお礼状

上南摩の植物 日陰で可憐に咲く「ヒカゲツツジ」！

- 和名：ヒカゲツツジ（「日陰に生えるツツジ」であることに由来）
- 学名：Rhododendron keiskei ver. keiskei
- 科名：ツツジ科
- 分布：栃木県内では、以下の5つの市で確認されています。
日光市、那須烏山市、宇都宮市、鹿沼市、佐野市
- 栃木県：準絶滅危惧(Cランク) ○環境省：指定なし



写真： ヒカゲツツジ
(環境保全地にて撮影)

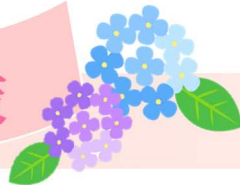
花期は4～5月で、写真のように1個の花芽に2～4個の淡黄色の花をつけます。1～2mの常緑低木で、葉は革質で長楕円形、先端はとがっています。山地の北斜面でやや乾燥した尾根筋の崖、岩場、谷沿いに生育し、やや日当たりの悪い場所を好みます。

事業地内では、西ノ入移植地に移植済みであり、今年の春も開花を確認しました。

(出典：レッドデータブックとちぎ 2018 改訂版)



思川散策



新型コロナウイルス感染症が終息したら、
河童尽くしの河童神社、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか？

かっぱ伝説にちなんだ神社 かっぱ 河童神社

前回の小倉川(思川)かっぱ伝説に引き続き、かっぱ繋がりスポットをご紹介します。

今回は、鹿沼市深程にある河童神社に行ってきました。河童神社は、近隣の名物であるかっぱまんじゅうを作るお店が、かっぱ伝説にちなんで建てたものです。敷地内に入ると、名物のかっぱまんじゅうを抱えている河童大王や河童七福神が出迎えてくれます。

「河童七福神」は、背中には甲羅、頭にはお皿、手には水かきがついており、元の七福神様の面影を残しながらも、皆様が連想するかっぱの特徴を捉えたユニークな七福神様です。河童尽くしの河童神社を訪れてみてはいかがでしょうか？



写真： 河童大王
(手には名物のかっぱまんじゅう)



写真： 河童七福神の一人、布袋様
(頭にお皿がついています)



豊年祈る間々田の蛇祭り

「蛇祭り」は、毎年5月5日(こどもの日)に小山市間々田地区の八幡宮で行われる子供たちが主役のお祭りです。

竹・ワラ・フジツルなどを材料に、長さ15mにもおよぶ竜頭蛇体(頭が竜、体が蛇)を作り上げ、「蛇がまいた、蛇がまいた」と叫びながら町内を練り歩きます。雨乞いや疫病除けの願いが込められており、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。



管理職の人事異動(令和2年4月1日付、5月1日付)

転入

転出

副所長(事務)

杉田 康司(愛知用水総合管理所より)

芦田 哲郎(愛知用水総合管理所へ)

副所長(技術)

佐々木 敏生(筑後川下流総合管理所へ)

総務課長

小宮 礼行(千葉用水総合管理所より)

上野 明良(豊川用水総合事業部へ)

調査設計課長

大谷 知樹(本社より)

島本 重寿(筑後川上流総合管理所へ)

工務課長

武田 保郎(味噌川ダム管理所より)

曾我 力(沼田総合管理所へ)

ダム工事課長

小林 昌運(沼田総合管理所より)

桜庭 博司(本社へ)



編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本誌の発行時期が遅くなり、誠に申し訳ございません。職員一同、皆様の健康と一日も早く通常の生活に戻ることができるよう祈っております。

今年度もよろしくお祈りいたします。

お知らせ

▼見学会の実施や工事状況等の詳細については、お電話またはHPをご覧ください！

(※現在、見学会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施を見合わせております。)

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289) 85-1110 Fax (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omogawa/index.htm>

思川開発

検索

